

同志社創立百二十五周年記念事業について

創立百二十五周年記念事業委員会



1. 同志社創立百二十五周年記念行事について

「記念行事実行委員会」・「同志社人交流企画委員会」

一九九九年一月から二〇〇〇年一月までの間を記念行事期間として計画しています。

(1) 同志社創立百二十五周年記念式典

二〇〇〇年一月二十九日（水） 栄光館

(2) 記念シンポジウム（京都）

二〇〇〇年一月二十五日（土）

国立京都国際会館 大会議場

創立百二十五周年記念式典の前に、全国各地での記念講演を締めくくる形でを行います。目的とテーマについては、二十

一世紀を迎え人類が抱えるさまざまな課題に対し精神性を語り、世界に向けて同志社から情報発信を行うこととします。

コーディネーターを磯村尚徳氏（外交評論家）にお願ひし、パネリストについては検討中です。

(3) 記念シンポジウム（東京）

二〇〇〇年一月一日（土）

東京国際フォーラム ホールC

心のいやしと魂の鎮めの時代に向けて
―共に学び・共に生き・共に創る21世紀―
をテーマにして、同志社から日本の教育界に提言を行います。

◎ パネリスト

Dr. Ronald P. Dore（教育学者）

大江健三郎氏（小説家・評論家）

※あとお一人を検討中です。

◎ コーディネーター

深田未来生（神学部教授）

また、文学部の井上勝也教授、沖田行司教授にシンポジウムの構成について検討していただいております。

(4) 記念講演（地方）

記念行事期間中、全国各地十一カ所で行います。

開催地は、福岡、松山、岡山、大磯、名古屋、金沢、新潟、仙台、札幌、神戸、大阪を予定しています。目的は、全国の同志社卒業生・関係者との交流を図るとともに、同志社の教育・研究の成果を広く社会に公開します。

福岡、松山、岡山、大磯についてはすでに以下の内容で実施されました。

・福岡市

一九九九年一月一二日(金)

演題 「ニュースを疑え！」

講師／小川和久氏(国際政治・軍事アナリスト)

・愛媛県松山市

一九九九年二月四日(土)

演題 「愛媛県と同志社」

講師／河野仁昭氏(元同志社社史資料室長)

演題 「楳円球の詩」

講師／林敏之氏(株式会社神ビューマンクリエイト)

・岡山市

二〇〇〇年一月二二日(土)

演題 「新島襄の女子教育観」

講師／坂本清音氏(女子大学教授)

演題 「今、お金をどう使うかー混乱する金融情勢下でー」

講師／小邦宏治氏(経済ジャーナリスト)

・神奈川県大磯町

二〇〇〇年一月二三日(日)

演題 新島襄の「白鳥のうた」ー大磯の二十八日ー

講師／本井康博氏(同志社大学講師)

* 碑前祭の後、新島襄先生永眠百十周年を記念して実施された。

今後の予定は以下の通りです。

・仙台市

二〇〇〇年六月一〇日(土)

十五時〜十七時半

会場／法華クラブ仙台ハーモニホール

講師／本井康博氏(同志社大学講師)

／木村政雄氏(吉本興業常務取締役)

・新潟市

二〇〇〇年六月二三日(金)

十八時〜二十時三十分

会場／新潟市民プラザホール

講師／本井康博氏(同志社大学講師)

／中村浩美氏(航空評論家・科学ジャーナリスト)

・金沢市

二〇〇〇年七月八日(土)

十六時〜

会場／金沢全日空ホテル

講師／伊藤彌彦氏(同志社大学教授)

／大八木淳史氏(株式会社ニルコ・エアレスター)

・札幌市

二〇〇〇年九月二二日(金)

十八時〜二十時三十分

会場／札幌後楽園ホテル

講師／井上勝也氏(同志社大学教授)

／山田厚史氏(朝日新聞編集委員)

・神戸市

二〇〇〇年一月七日(土)

十四時〜十七時

会場／神戸朝日ホール

講師／沖田行司氏(同志社大学教授)

／小川和久氏(国際政治・軍事アナリスト)

(5) 全同志社合唱祭

二〇〇〇年一月一八日(土)

京都コンサートホール(大ホール)

グリークラブ、リーダークランツ、混

声合唱団こまくさ等、大学、女子大学、

中学、高校さらに卒業生も含め全同志社

の合唱団が一堂に会し行われます。

(6) 同志社ホームカミングデーアンドウィーク

二〇〇〇年一月一日(水)・二日

(木)・三日(金)

期間を通じて卒業生の皆様がキャンパスに集い、再会と出会いの中でノスタルジーを感じ、さらに普段の学園の様子にもふれてもらいながら、いっそう母校とのきずなを深めていただきたいと願っております。

二〇〇〇年一月三日（金・祝日）は、とくにホームカミングデーとして今出川キャンパスを中心に十時から十五時の予定で卒業生歓迎のイベントの一日とします。また、当日ゼミ、クラブ等の同窓会には教室を予約によりご利用いただけます。さらに、ホームカミングデーの特別企画として、同志社大学を一九七〇年、一九七二年、一九七五年に卒業された方を対象に記念の「卒業式」を挙行する予定です。

2. 同志社小学校（仮称）の設立について

「同志社小学校（仮称）設立構想委員会」一九九八年四月に委員会を設置して、二十一世紀初頭の小学校開設の可能性について具体的な検討が重ねられています。

3. 同志社教育を一層充実するため の施設等の整備について

(1) 北小松校地に新たな施設を建設するこ

とについて

施設全体の名称は「同志社びわこリトリートセンター」と決定し、また、管理・運営等を検討する組織として「同志社びわこリトリートセンター運営委員会」が設置され、今後の運用について種々の検討が重ねられています。

建設工事は順調に進んでおり、九月には竣工、試行期間を経たのち十一月から使用開始の見込み。使用申し込みは、五月連休明けから施設部管財課で受け付ける予定です。

(2) 田辺校地通学路周辺の環境整備について

女子大学正門から陸橋付近までの南北両側を植栽やモニュメントなどでブラザ化し、駐輪場も拡大整備するものです。夏までに完工、完成すれば通学には楽しいプロムナードとなる予定です。

(3) 今出川校地の総合的再整備について

大学、女子大学、女子中学校・高等学校、中学校、幼稚園の各校において、現在、既設校舎の改修・整備や新たな計画などが実施あるいは検討中ですが、総合

的な整備については将来構想との関連もあり、各学校間での調整が行われています。

4. 歴史的建造物の修復・活用について

(1) クラーク記念館の修復について

京都府文化財保護課の重要文化財修復計画との調整中であり、具体化への折衝が続いています。

(2) ジェームズ館の修復について

女子大学記念事業の一環としてこの夏より保存改修を施し、今出川コミュニティセンターとして生まれ変わる予定です。

5. 社史資料の整理および『新島襄 の教育理念』（仮称）の現代語訳 について

同志社社史資料室において、百二十五周年記念事業として以下の事業を計画し作業を進めています。

(1) 社史資料室所蔵の未整理図書については、DOORSで検索できるように一九九八年一〇月より入力を開始しています。今後文書資料、写真資料についてのデータの整理を進める予定です。

(2) 新島遺品庫に収蔵している資料の電子化を、一九九八年度より開始しています。二〇〇〇年度には電子化の作業を完了する予定です。今後これらの電子化された資料がNesima Roomなどでも一般に公開できるように、システムの検討を進めています。

(3) 新島襄の教育思想を現代の若年層（幅広く一般社会人も含む）に伝えるため『新島襄全集』などから適切な部分を選択し、現代語に訳したうえ『新島襄の教育理念』（仮称）として、二〇〇〇年一二月に刊行する予定です。

6. 同志社女子大学の百二十五周年記念事業について

同志社女子大学は、一九九九年に新制大学設置五十周年、二〇〇一年に創立百二十五周年を迎えます。一九九九年四月

から二〇〇二年三月の三年間を記念事業期間として、さまざまな行事等を計画（一部は実施済み）しております。

(1) 第一回同志社女子大学ホームカミングデーの実施

主催 同志社女子大学

協賛 同志社同窓会

日時 一九九九年一月二〇日（土）

EVE当日

場所 今出川キャンパス

参加者 卒業生約千二百人、教職員約

百五十人（退職者を含む）

テーマ 「懐かしさに誘われて…あの頃を探しに」

内容・記念礼拝・式典

講演 永井路子氏

・懇親パーティー

・「同志社女子大学エンブレム」

発表

・その他各種イベント

実行委員としてお世話いただいた卒業生、退職教職員、その他の皆様のおかげで、大盛況のうちに閉会することができました。

次回は、二〇〇一年秋に京田辺キャンパスを中心に開催する予定です。

(2) 「友和館（コミュニケーションセンター）」の建設（京田辺キャンパス）

木津川を一望できる場所に、ロビー、卒業生ラウンジ、食堂、購買部、エスカレーター等を備えた「友和館（コミュニケーションセンター）」が、二〇〇〇年夏に完成します。

(3) 「ジェームズ館」の改修・保存（今出川キャンパス）

老朽化したジェームズ館を今出川キャンパスのコミュニケーションセンターとして改修・保存します。改修工事は、二〇〇一年夏に終了の予定です。

(4) 記念式典、講演会、公演、展示会の開催

一九九九年度に引き続き、二〇〇〇～二〇〇一年度にも記念式典、講演会、公演、展示会等の各種行事を計画しています。また、同志社女子大学の大学歌をつくるため、現在準備を進めています。

(5)「同志社女子大学創立百二十五周年・新制女子大学五十周年記念写真集(誌)」二〇〇〇年度中に発刊の予定で、現在作業を進めています。

(6)募金活動の実施

「ジェームズ館」の改修・保存と「友和館(コミュニケーションセンター)」の建設のため、現在、募金活動を行っています(募金目標額 五億円)。

すでに卒業生、在学生の父母、教職員、企業、篤志家等から多数ご賛同いただいております。感謝申し上げます。

(7)同志社女子大学「現代社会学部社会システム学科」の開設

一九九九年一月二二日に文部大臣より認可がおり、二〇〇〇年四月開設が決定しました。

現代社会学部社会システム学科(国際理解コース、京都学・観光学コース、ライフマネージメントコース、ビジネスマネージメントコース)

入学定員 四百人

三年編入定員 二十人

7. 同志社香里中学校・高等学校の百二十五周年記念事業

同志社香里中学校・高等学校の創立五十周年記念事業の教育施設等の整備・充実が順調に進んでいます。

(1)友愛館の献堂式が、一九九九年三月二三日に行われました。鉄筋コンクリート造、普通教室、多目的教室、屋上プール(開閉式ドーム型)延面積四、〇四三㎡ 地下一階地上四階建。

(2)バス停留所、校名碑、時計塔(絆の塔)エントランス、通学路(一四五m)の改修は、一九九九年八月三一日完成しました。

(3)二〇〇二年からの中学校の共学化に伴い、対応施設として女子更衣室、トイレ、シャワー室等の整備を検討しています。

(4)多目的グラウンドのクレーコート砂入り人工芝への改修を検討しています。

(5)第一グラウンドに暗渠排水溝、透水管を入れる改修工事を検討しています。